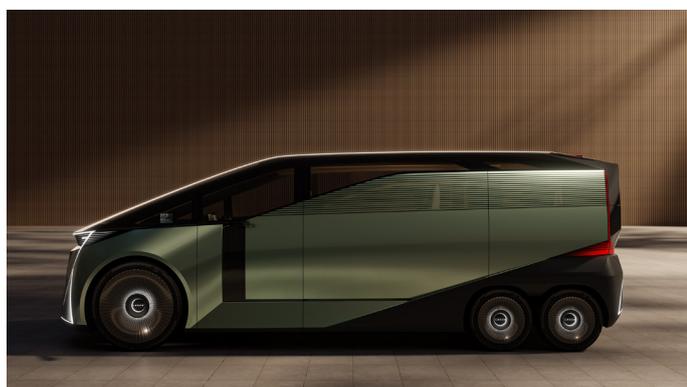


Japan Mobility Show 2025 で披露されたトヨタ自動車株式会社の 「レクサス LS Concept」コンセプトモデルの内装モビリティパーツを製作！



株式会社 天童木工(本社:山形県天童市)は、2025年10月30日より開催中の「Japan Mobility Show 2025」において、トヨタグループブースにて公開された「レクサス LS Concept (LEXUS LS Concept)」のコンセプトモデルの内装製作に技術協力を行っています。

「レクサス LS Concept」コンセプトモデル



レクサスの最上位車種レクサス LS は Luxury Sedan (ラグジュアリー・セダン)からLuxury Space (ラグジュアリー・スペース)と再定義され、車両は6輪構造となり、シートを3列備えた電気自動車のショーファーカー(運転手付きの車両)として発表されました。



本モデルにおいて、天童木工は Fr シートバックパネル、2nd シートバックパネル、3rd シートパネルなど複数の内装モビリティパーツを成形合板技術で製作しました。

製造方法：成形合板
表面材：国産スギ柾目
芯材：国産スギ

製品開発ストーリー



レクサスが目指す「移動時間を豊かな体験へ昇華させる車内空間」の実現に向けて、繊細な意匠や自由な曲線を描く木製家具を生み出す、天童木工の成形合板技術を高く評価いただき、車内インテリアに成形合板の採用が決定しました。

成形合板とは、薄くスライスした“単板”と呼ばれる木材に接着剤を塗布し、複数枚重ね合わせて、型に入れ、様々な形に成形する技術です。単板は、製品に合わせて計画的にカットして使用するため、無垢材の家具に比べて、1本の木からより多くの材料を有効活用できる環境負荷の小ささが大きな特徴です。



また、プロジェクトを進めていく中で、内装モビリティパーツの表面材と芯材には国産スギを活用することになりました。

天童木工は、地域資源であるスギ等の国産針葉樹を活用し、家具として地域に還元する「地産地消」の家具づくりを 2010 年代から実践してきました。



国産針葉樹の積極的な活用は、伐採後の植林による森林再生を可能にし、環境保全はもちろん、国内林業の持続的な発展にも大きく貢献します。



「レクサス LS Concept」コンセプトモデルに採用された、成形合板の内装モビリティパーツの積層面には、スギの晩材を用いて、高級生地などに使われる連続したV字模様「ヘリンボーン柄」が表現されています。スギの単板を2枚1組として、美しいV字模様を描く組合せを天童木工に保管している約1万枚の単板から選定しました。

さらに、木口部分に銅線を象嵌(埋め込み)加工し、金属と木材の複合表現を実現しています。

レクサス LS 特別仕様 オリジナルハンガーを製作しました



「レクサス LS Concept」コンセプトモデルの内装モビリティパーツ製作にあわせ、車内での使用を想定した特別仕様のオリジナルハンガーを新たに製作しました。本製品は、当社の職人が一つ一つ丁寧に手加工で仕上げたもので、レクサスのデザイン部門が、天童木工の成形合板技術の美しさと精緻なもののづくりを伝えるために特別にデザインしたものです。

コンセプトモデルの洗練された空間に調和するデザインと機能を兼ね備え、快適なモビリティライフをサポートします。

展示会詳細

Japan Mobility Show 2025

主催：一般社団法人 日本自動車工業会（JAMA）

会期：2025年10月30日（木）～11月9日（日）

会場：東京ビックサイト（東・西・南展示棟）

レクサス ブース / 南展示棟 SP03

「Japan Mobility Show」は、自動車産業の枠を超え、IT・通信・エレクトロニクス産業など多くの産業を巻き込み「豊かで夢のあるモビリティ社会の構築」を目指すイベントです。

▼詳細

<https://www.japan-mobility-show.com/>